

「葛飾区少年の主張大会」が
開催されました

平成27年11月21日、かつしかシン
フォニーヒルズアイリスホールにお
いて、応募総数523人の中から選ばれ
た小学生19人・中学生6人、計25人が
それぞれの主張を発表しました。結
果は次のとおりです。

■小学生の部
最優秀賞

広田 櫻子(ひろた さくらこ・葛飾小6年)
「平和な星を夢見て」

吉田 はるか(よしだ はるか・道上小6年)
「努力は二所けん命のつみかさね」

優秀賞

影山 慧(かげやま けい・渋江小6年)
「思いやりの社会を作るために」

小松崎 木花(こまつぎ きはな・西亀小6年)
「かけがえない命を大切に」

渡邊 莉瑛(わたなべ りさ・吉戸小6年)
「命について考えたこと」

吉田 詩月(よしだ しづき・北野小6年)
「世界に一つ自分だけのオンリーワン」

亀本 大勝(かめもと たいしょう・幸田小6年)
「「愛さつ」で人と人がつながる」

入選

野田 爽太(のだ そうた・本田小5年)
柳原 丈稀(やなぎばら ともぎ・宝木塚小6年)

山口 竜平(やまぐちりゅうへい・綾南小6年)
関澤 可帆(せきざわ かほ・白鳥小6年)

能見 之音乃(のうみ のの・二上小6年)
山野 雄太(やまの ゆうた・松上小6年)

原 拓希(はら ひろき・南奥戸小6年)
石川 想(いしかわ こう・高砂小6年)



中学生の部
最優秀賞

永井 大裕(ながい だいすけ・末広小6年)
立木 美羽(たつき みう・金町小6年)
竹花 匠平(たけはな しょうへい・花の木小6年)
高木 彩音(たかぎ あやね・飯塚小6年)

入選

牛久 友萌(うしく ともえ・四ツ木中2年)
大町 彩菜(おおまち あやな・亀戸中2年)
岡田 真斗(おかだ まなと・葛美中3年)
(敬称略・同一賞内の順番は発表順)

田澤 勇斗(たざわ ゆうと・葛美中3年)
「笑顔あふれる惑星へ」

細谷 愛笑(ほそや まなみ・葛美中2年)
「ユニバーサルランゲージを学んで」

細谷 愛笑(ほそや まなみ・葛美中2年)
「ユニバーサルランゲージを学んで」

細谷 愛笑(ほそや まなみ・葛美中2年)
「ユニバーサルランゲージを学んで」

細谷 愛笑(ほそや まなみ・葛美中2年)
「ユニバーサルランゲージを学んで」

細谷 愛笑(ほそや まなみ・葛美中2年)
「ユニバーサルランゲージを学んで」

細谷 愛笑(ほそや まなみ・葛美中2年)
「ユニバーサルランゲージを学んで」

細谷 愛笑(ほそや まなみ・葛美中2年)
「ユニバーサルランゲージを学んで」

細谷 愛笑(ほそや まなみ・葛美中2年)
「ユニバーサルランゲージを学んで」

細谷 愛笑(ほそや まなみ・葛美中2年)
「ユニバーサルランゲージを学んで」

細谷 愛笑(ほそや まなみ・葛美中2年)
「ユニバーサルランゲージを学んで」

細谷 愛笑(ほそや まなみ・葛美中2年)
「ユニバーサルランゲージを学んで」

細谷 愛笑(ほそや まなみ・葛美中2年)
「ユニバーサルランゲージを学んで」

中学生の部・最優秀賞
残していきたい日本語

堀切中学校3年 天童 虹

国語の授業で最近、万葉集や古今和歌集と
いった古文を習いました。古文の中には、普
段私が読む本や、友達との会話にはまったく
出てこない言葉ばかりで、正直(意味わから
ないし、苦手だなあ)と思っていました。で
も、授業の中で、この和歌にはこんな意味が
あると教えていただくにつれ、少しずつ興味
が湧いてきて、夏休み前に図書館で新古今和
歌集を借りてみました。暑い昼間、部屋の中
で読んでみると、
「道のべに 清水流るる柳陰 しぼしとて
こそ たちどまりつれ」
という、西行法師の和歌がありました。和歌
の中には、「涼しい」とか「気持ちが良い」
という言葉は出てきていないけれど、キラキ
ラと澄んだ清水と、さらさらとゆれる柳が目
に浮かび、心地良い水と葉の音が聞こえてく
るような気がしました。三十一文字という短
い歌の中に、景色、音、温度、そして思いが
入っている。私の中の五感が刺激されたよ
うな、不思議な感じがしました。
最近の若い人たちは、よく略語を使いま
す。たとえば私と友達の会話の一部を紹介す
ると、
「今日イツメンでタコパしようよ!」
「まじ?ガチで楽しみだわ!」
といった感じです。略さないで言うのと、
「今日いつものメンバーでたこ焼きパ
ーティーしようよ!」
「本当に?本気で楽しみ」
となります。略語はとても面白いですが、私
も友達と話していて楽しいです。みなさん
も、よく使うのではないのでしょうか?しかし
最近、略語が馴染みすぎて、目上の方や先生
に向かっても、「ヤバイ」とか「ガチで」と
いう言葉を使っているところをよく目にしま
す。私もつい略語を使ってしまうたり、正し

い敬語が使えていないことがあります。略語
やくだけた言葉は楽しいけれど、しつかりと
時と場合を考えて話さないといけないなあ
と思います。流行の言葉は、毎年どんどん出
てきて、私たち若者は、おもしろさと流行に遅
れないようにしなきゃという思いから、つい
つい「日本語」の美しさというものを忘れて
いるのではないかと思います。
二〇二〇年に東京でオリンピックが行われ
ます。それに向けて今、世界共通語である英
語や、最近多く使われるようになった中国語
を話せるようになった方が良く、ニュース
番組や新聞で言われています。もちろんそれ
も大切なことだと思っています。しかし、私
はそれの前に大切なことがあるのではないかと
思うのです。それは、日本語をしつかり正し
く使えるようにすることです。これか
ら、たくさんのお客やオリンピック関係者
といった外国の方が日本にやってくると思
います。街中やお店での何気ない会話を聞いた
外国の方が、
「日本語の響きは美しく良いなあ。」
と思つて、日本語に興味を持ってくれたら本
当に嬉しいです。

私の将来の夢は、小学校の先生になること
です。小学校、中学校の先生方は、今まで私
に、いくつもの美しい日本語を教えてください
ました。そして、私はその言葉で何度も救
われてきました。将来私が先生になった時に
は、もつとたくさんのお話やくだけた言葉が
使われているかもしれません。私はその言葉
を使って生徒達と話し、笑い合いたいと思
います。でも、西行法師の和歌が、夏休みの
私の心に気持ちよく染み入ったように、生徒
達の心に残る美しい言葉をたくさん教えるこ
との出来る先生になりたいと思つています。
そして、ずっと先の未来に、正しく美しい
日本語が大切に伝えられ続けていることを、
心から、願っています。